

原簿

潜水艦偵察ノ是日ニル等敵言ヲ強化  
スルノ要ナル場合ニテ各部隊ノ対空(雷探)  
並ニ海上警戒ヲ嚴スルト共ニ対空射撃ニ  
任スル部隊ハ一部ヲ以テ警戒(高射部隊)  
ニ在ラシテハ警戒(射撃トス)ニ就テ爾余ノ部  
隊ハ迅速ニ掩蔽ニ待避シ得ルニ準備ヲ整ヘ  
待テ我々既備ヲ力等ヲ曝露スル如ク留意スル  
モトトス

警戒警戒教令セラシムル時ハ別命ナリ本戦備ニ  
移ルモトス

丙号警戒備下合間警戒警戒解除  
セラシムル時ハ別命ナリ

丁号警戒備ニ移ルモトス

乙号警戒備

原簿

我カ警戒圏及警戒警戒圏ノ内ニ敵ヲ認  
ナル場合ニシテ各部隊ハ五トシテ対空警戒  
及海上監視取ニシテ警戒ヲ行ヒ爾他ノ教育  
訓練軍城ノ通作ヲ其ノ他ノ勤務力ニ送  
キス

但ニ常ニ敵ヲ警戒警戒ニ対テ心得ル如  
ク必要ノ準備ヲ遺憾ナキヲ要ス

佐作命オナセ

一〇、一五 名達オナセノ後

回頭地返隊命令

一本日一九三〇西丙号警戒備ヲ解除セラル

二、如區隊ハ十号警戒備ニ復セントス

三、対空射撃部隊ハ撤收スヘシ

四、各隊ハ晝夜兼行晴雨ニ拘ラス陣地構築不  
ヲ促進スヘシ

原簿

五五五

五、全八名護才中學校ニ在リ  
 國頭地區隊長 佐後大尉  
 行事、作業、指揮班及才ニ小隊才ニ小隊ハ勤務員  
 員ヲ除ク全員以テ隊長指揮班作業ヲナス  
 章意、分遣隊ハ勤務員ヲ除ク全員以テ書記  
 二於テ隊長指揮班作業ヲナス  
 市座及分遣隊ハ書記ニ於テ全員指揮班  
 指揮班作業ニ従事ス  
 指揮班員  
 指揮班員 黒崎兵長以下六名  
 指揮班員 仲曾根上等兵以下四名  
 指揮班員 長崎兵長以下四名  
 中隊長以下一六一名

十月五日  
 晴 天  
 位置  
 命令

國頭地區隊長命令  
 一、十月十日、一〇、〇〇、西号野備ヲ下令セラル  
 二、才四中队駐機園銃中队隊長ハ部下各一々中隊ヲ有  
 護正北側高地ニ進出シ対空射撃部隊トシテ服務  
 〇、〇、〇、〇、才四中队ヲ才四中队隊長才五中  
 隊交五ニ進出ス  
 三、各隊ハ待テ対空射撃隊ヲ四隊ナリテ隊長指揮班ヲ  
 續行ス  
 四、軍人若シテ才四中队隊長職ヲ担ヒテ在リ  
 國頭地區隊長 佐後大尉

官制

官制

統帥命令第一〇九号

（國領地区隊命令）

一〇九一六 一六〇〇

一、軍情報告係レハ有力ナル敵機動部隊ニ及ビ三

群並ニ東シヨク至三〇海里ヲ推動中ナリ

二、地区隊ハ甲號戰備下令ヲ顧慮シ連カニ對

準備ニ促進セントス

三、各隊ハ号戰備ノ下令ヲ顧慮シ諸準備特

對艦砲射撃ニ備ヘ且對戰車戰闘ヲ強化

促進スヘシ

之ヲ為メ地区隊ハ内攻手ヲ集合教育ヲ実施

セントス

細部ハ別命令

佐々木 大尉

山石命令第一〇八号

一、十月十六日一〇〇〇両号戰備下令セラレ

二、村上少尉ハ部下小隊ヲ以テ名護西北方宮地ニ居

對空射撃部隊トシテ服務スヘシ（初二日ハ初五中隊ヲ

茲後初四初五中隊交スニ交代スヘシ）

中隊命令

一、本職本十之口幸喜分遣隊隊長ヲ並ニ對空

監視及海上監視北等ノ為メ出張ス

二、右本職隊長不在時中隊長代理ヲ命ス

三、右本職隊長不在時中隊長代理ヲ命ス

行事

一、本職隊長不在時中隊長代理ヲ命ス

二、本職隊長不在時中隊長代理ヲ命ス

三、本職隊長不在時中隊長代理ヲ命ス

四、本職隊長不在時中隊長代理ヲ命ス



十月十日 水曜日

氣象 晴 天

位置 名護國民学校防空壕内

命令 佐作命才三号

國頭地區隊命令

一〇二八 二一〇〇  
名護才三中学校

一、軍に敬意戒厳言報ヲ解降ニ下号戰備ニ移行セラル

二、地區隊ハ下号戰備ニ移行セリトス

三、各号遺隊及各隊ハ海上及び村屋敷警戒ヲ嚴

ニシテ爾後ノ作戰準備ニ関シ遺隊ハナラシムル如ク

豫メ指示セラルトシ基キ陣地構築木柱ニ教育訓

練ニ邁進スヘシ

四、余ハ名護才三中学校ニ在リ

國頭地區隊長 佐藤大尉

命令

陸軍上等兵 長屋 成四 昌

一、右旅團惣務勤務ヲ命ズ

依テ明十九日朝令發テ服務スヘシ

中隊命令

一、本職直野理分遣隊陣地構築作業指導並ニ

陣地監視及海上監視既備状況視察ノ為メ本

十八日ヨリ一泊ニテ不意ヲ以テ出張ス

二、陸軍少尉 杉屋 重 徳

右本職出張不在間中隊長以理ヲ命ズ

一、作業指導班及下号隊才三カ隊ハ(對政府等ヲ

除ク外)全島ヨリ名護西北方高地附近ニ於テ陣地

構築作業ニ從事ス

榮臺分遣隊ハ現在地ニ於テ全カク準備ヲ陣

地構築作業ニ從事ス

行軍

自野陸分遣隊、全員以テ博志陸地構築作  
業ニ従事ス

一、中隊長ハ、八〇〇ニ自野陸分遣隊ハ出張ス

勤務  
日祥濟兵 松尾 但長以下一〇名

対空監視有儀 同上 以下五名

中隊長以下 六一名

木 健 日

晴 天

副隊長 松尾 健 日

命令 書 綴

現在 留

十月十九日

位置

隊

命令

一、明二十日 三〇〇ニ同任作命才ニ号ニ基キ 田攻手  
小型ニ型機雷ノ教育ヲ実施スニ付 各中队ハ (野隊) 毎  
日 来教育ヲ考慮シ 下ニ書ニ名 毎日 〇八〇 才三  
学校ニ出場セシメラレ 候シ

二、明二十日 自野隊 田攻手 連隊ノ為メ 各中队ヲ (才三  
隊ヲ除リ) 兵四名ヲ 〇七五 〇分点ニ 三中队ニ差出

三、夜中隊ノ 指示ヲ 唐テ 〇八〇

四、各中队ハ 糧秣 香飲 為メ 便渡 兵一名ヲ 明 〇八〇  
迄 中山 陸隊 許ニ 差出サレ 候シ

中隊 命令

陸軍 中隊長 多田 瑞 穂

副隊長 高 高 太

右ノ者 佐々木 部 為 本部ニ 於テ 年 〇 日 内 攻手 小型  
ニ 型機雷 取 扱 教育ニ 参加 ヲ 命ス

陸軍 上等兵 五 成 敏 雄

明二十日 自野隊 田攻手 連隊ノ 為メ 〇七五 〇分点 迄 三中队  
ニ 差出 三 夜中隊 指示ヲ 唐テ 〇八〇

陸軍 一等兵 小 橋 川 清 藏

明日(二十日)六〇〇。糧秣運搬ノ為、中山至新莊駐、指ヲ  
示スル

行軍

一、作業指揮班又チカ隊方ニカ隊ハ(諸勤務兵ヲ  
陣外)全員以テ國民学校西北方宮田附近ニ  
於テ陣地構築作業ヲナス  
幸喜台遺隊ハ現在地ニ於テ陣地構築作業ニ  
従事ス

宜野社右遺隊ハ棲息陣地作業ヲ引續キ  
完成ニ向テ續ル

二、中隊長ハ宜野社右遺隊出張中、處本口ニ在リ  
歸隊ス

勤務

旅團衛兵 比嘉加兵長以下六名  
彈藥班衛兵 中村梁幸兵以下四名  
糧秣班衛兵 米須上等兵以下四名

中隊長以下 一六一名

現在員

十月二十日

五曜日

晴 天

位置

國民学校防屋境内

命令

佐作命 才三三号

國頭地區隊命令

一六、〇〇  
名度才三三号隊

一、十月十九日獨逸才四四旅作命 才三三号旅リ戰備

二、同 一部追加セラル

二十月十五日佐作命 才三三号 別紙ニ在記、事取リ

追加ス

(二)未明ニ種入乙号戰備下令同座籠警報解除

セラレ三時八分命令ナリ、四号戰備ニ移レモトス